学校だより　１０月号

にほんまつ

相模原市立二本松小学校
2026. 9. 25
「かしこさ」
「やさしさ」
「たくましさ」

松っ子ブログ

５０年の思いを込めた大輪の「開花」を

校長　　松浦　隆志

朝夕の風に秋の深まりを感じる季節となりました。いよいよ１０月１７日（土）、本年度も運動会を開催いたします。現在、校庭や校舎から、元気いっぱいの掛け声や歌声が響き、学校全体が活気にあふれています。

今年度の運動会テーマは、児童会が全校児童から募集し決定した「開花」です。この言葉には、これまで一人ひとりがコツコツと積み重ねてきた努力の成果が、美しく咲き誇るようにという願いが込められるそうです。そして、創立５０周年という記念すべき節目を迎える今年、先輩方から受け継いできた二本松小学校の歴史と良さが大きく花開くように、そしてその輝きが未来へと繋がっていくようにという、全校児童の熱い思いが詰まっています。

先日、運営委員の６年生に「どんな運動会にしたいか」と尋ねたところ、「自分も、会場にいるみんなも感動できるような運動会にしたい」と答えてくれました。

「感動」とは、自分の想定や想像を超えて心が大きく動いたときに生まれるものです。子どもたちは今、自身の限界を乗り越えようと日々練習に打ち込み、仲間と力を合わせて高い目標に挑戦しています。演技や係活動といった運動会に向けてのことだけではなく、「あいさつ」や「聴く」など普段の生活で大切にしていきたいことにも本気で取り組んでいます。こうした「本気の行動」が運動会本番での真剣なまなざしや一生懸命な姿に、そして観る人の想像を超える深い「感動」へとつながっていくと信じています。

保護者の皆様、地域の皆様。当日はぜひ会場へ足をお運びいただき、自分の目標に向かって最後まで諦めずに走り抜く子どもたちへ、温かい拍手とご声援をお願いいたします。皆様の応援が子どもたちの背中を押し、最高の「開花」を咲かせる一番の力となります。

半世紀の節目を飾る特別な運動会。二本松小学校に関わる全ての人たちにとって、忘れられない運動会にしていくことができるよう、全職員が一丸となって取り組んでまいります

学校と学年からのお知らせ

学校

☆10月17日(土) 運動会

運動会に向けての練習では、汗ばむことも考えられます。体育着を持ち帰り、授業までに洗濯が間に合わなかった場合には、代わりのTシャツなどの動きやすい服装を、体育用に持たせていただいても構いません。運動会の練習がある日は、汗拭きタオルや水筒を持たせてください。運動会の詳細については、9月28日にスクリレで配信いたします。

1年

カタカナや漢字、鍵盤ハーモニカといった新しい学習も始まり、子どもたちの「がんばろう」という意欲も高まってきています。遠足や入学してから初めての運動会も近づいてきました。友だちと力を合わせることの楽しさや、最後までやり遂げることの大切さなどを実感し、心も体もさらにたくましく成長していけるように見守っていきます。

2年

運動会の練習が始ました。運動会の練習がある日は、汗拭きタオルや水筒を持たせてください。また、家庭での体調管理もよろしくお願いします。

先日、遠足の写真販売に関する「インターネット写真販売のお知らせ」を配布しました。販売期間は、10月19日までとなっています。ご確認よろしくお願いします。

3年

大和製罐への工場見学以来、「おうちにあった〇〇の缶が、大和製罐で作られていたよ！」と、子どもたちからたくさんの報告があります。今回の見学を通して、「生活」と「ものづくり」がつながり、缶というものを新たな目で見られるようになった姿だと感じます。運動会に向け、一緒に取り組む4年生の姿をお手本にしながら成長できるよう、サポートしていきます。

4年

音楽では学年で合奏の練習に取り組んでいます。互いの音を聴き合いながら合わせる難しさと楽しさを実感し始めているところです。また、今後は運動会に向けた練習も始まります。担任一同、子どもたちが自ら考え協力し合う姿を大切にしながら、しっかりサポートしてまいります。

5年

ランチョンマットの布の準備ありがとうございました。

宿泊体験学習「やませみ」について

11月26～27日に宿泊学習があります。今月中旬に、書面にて活動内容や持ち物をお伝えいたします。お子さんと一緒に準備をお願いいたします。今月は運動会もあります。体調を崩さないよう家庭での体調管理をお願いします。

6年

10月の運動会を皮切りに、連合運動会、50周年記念式典と行事が続いていきます。二本松小学校の6年生としての最後の行事になります。体調の管理を引き続きよろしくお願いいたします。また、運動会の練習がある日には、水筒を必ず持たせてください。外での練習では、体操着が汚れます。汚れた場合には持ち帰りますので、体操着の代わりになる服を持たせるようお願いいたします。